

# まずな

KIZUNA

3・4

2023年  
令和5年



## INDEX

- 2 「無意識を意識化する大切さ」  
渡辺 貴一さん  
(特定非営利活動法人 Japan hair donation & charity代表理事)
- 3 「人とのつながりを見直そう」  
石田 光規さん (早稲田大学文学学術院 教授)
- 4 「共生社会の実現をめざして」  
伊藤 新一郎さん (北星学園大学社会福祉学部 教授)
- 5 「シリア、経済制裁が貧しい人たちの人権を奪っている」  
佐藤 真紀さん (チームベコ 代表)
- 6 「共生社会の実現をめざした人権啓発の拠点として」  
(公財) 兵庫県人権啓発協会
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ぶらざ



# 無意識を意識化する大切さ

特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity (ジャードック)

代表理事 渡辺 貴一 さん



## プロフィール

特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity (JHD&C・ジャードック) 代表 1971年、宮崎県生まれ。美容師。1995年、ニューヨークのトップカラーリストに師事、研鑽を積む。帰国後は日本初のカラーリスト(ヘアカラーのスペシャリスト)として活躍。2008年、大阪市内に自身のサロンをオープン。翌2009年、日本初のヘアドネーション団体・JHD&Cを設立。髪を伸ばして切るだけという気軽さから、年間10万人以上の方が参加するボランティアとなっている。

Q ヘアドネーションを始められたきっかけは

A 美容師としてアメリカへ修行に行った際、チャリティー(慈善・博愛)が日常的に行われており、生活の一部となっていました。また、チャリティーを行わない人に対して、それを批判するということもない環境でした。この経験が根底にあります。

帰国し、37歳で美容師として独立する際に、何か普通とは違うサロンを出店できたらと考え、日常的に人の髪を切つて捨てている美容室から、ヘアドネーションを始めることにしました。

Q ウィッグを必要とされる方の現状は

A 小児がんの患者さんの場合、抗がん剤治療が始まると2週間ほどで

ウィッグが必要となる方もいらっしゃいます。しかし現在、お申し込みただいてから1〜2年お待ちいただくかねばならず、すぐにはお届けできない状況にあります。お待ちいただいている間に亡くなる方もいらっしゃるようです。

またそれとは別に<sup>\*</sup>レシピエントさんの中には周りの視線を気にして、ウィッグをつけたくなくともつけなければならぬという方もいらっしゃいます。髪は女の命<sup>\*</sup>といったような古い考えがレシピエントさんたちを苦しめているかも知れません。つけるかつけないかを、自分の意思で決められるような社会へと進んでいくことが大切だと考えています。

Q 「無意識の偏見」について

A 日本では古い風習や考え方が根強く残っているように感じます。それは特に女性に対して顕著に見られるのではないのでしょうか。女性の社会進出が進み、男女ともに働く社会へと進んでいるのに、現実には、未だ女性がほとんどの家事や育児を担っています。そこには「女性がやるべきこと」という無意識の決めつけがあるように感じます。それ以外にも私たちが気づかないだけで、何気ない日常の場面には様々な偏見や差別が、未だ数多く存在していると思います。そのことについて、意識的に話題にしたいだくことで、多くの方々と共有意識を持ち、真の共生社会へと進んでいくと強く願っています。

Q これからの活動

A 新しい取組として、有償にはなりますが資生堂、アデランスと共に人工毛ウィッグ「Wig+」を開発・製作しました。年齢制限を設けず、在庫さえあれば、必要なときにお届けすることができるようになりました。

また医療用ウィッグに対する地方自治体の助成について調査を行っています。兵庫県においてはほとんどの地方自治体が助成の制度を設けており、条件に合えば利用することができます。調査の結果については当団体ホームページに掲載していますので、ご覧ください。  
(<https://www.jhdac.org/>)

<sup>\*</sup>ジャードックからウィッグを受け取る人(寄贈を受ける人)

# 人とのつながりを見直そう

早稲田大学文学学術院

教授

石田

光規

さん

## 人びとがつながりにくくなった社会

1990年代後半以降、私たちを取り巻く人間関係に大きな変化が起きました。物的に豊かになり、個々人の意思や信条を大事にしようという考え方が広まったことで、人とつながることがかえって難しくなったのです。

物的に豊かになると、私たちは、誰かと協力しなくてもさまざまなことができるようになります。ネット環境とある程度のお金さえあれば、人と会わない生活も可能です。インターネットが急速に普及したのが1990年代の後半でした。

個人の意思や信条については、それが尊重されるのは、非常に喜ばしいこ

とです。しかし皮肉なことに、個々人を大事にするからこそ、人とつながれなくなるという状況もあるのです。

個々人を大事にする社会では、誰かに何かを押し付けられないことを求められます。たとえば自分と異なった考えであつても、人それぞれと許容し、立ち入らないのが流儀なのです。

人間関係についても同様に、私たちは誰とつきあうか、どういった集まりに参加するかある程度選べるようになりました。

物的にも精神的にも人とつながることを強要されない社会は、否定的・強制的なつながりから逃れられる自由とともに、関係からこぼれ落ちるリスクも連れてきてしまいました。今や、つ



## プロフィール

2007年東京立大学大学院社会科学研究所社会学専攻博士課程単位取得退学(社会学博士)。著書に『人それぞれがさみしい——「やさしく冷たい」人間関係を考える』(ちくまプリマー新書)、『孤立の社会学——無縁社会の処方箋』『つながりづくりの隘路——地域社会は再生するのか』(勁草書房)、『郊外社会の分断と再編——つくられたまち・多摩ニュータウンのその後』(編著、晃洋書房)、『友人の社会史——1980-2010年代 私たちにとって「親友」とはどのような存在だったのか』(晃洋書房)ほか。

ながりを確保するためには、自らが積極的に動かなければなりません。

## 孤立と居場所の流行

人びとがつながりにくくなるのと歩調を合わせるように、2000年代に入ると、孤立と居場所の議論が増えています。2005年には団地で餓死した人を取材した特集番組が放送され、行政の「孤立死」対策が始まりました。

孤立への注目が高まると同時に、孤立した人を支援する「居場所」への注目も高まっていきます。「居場所」が単なる「いるところ」から「自分らしくいられる場所」「息抜きできる場所」と特別な意味を付与され、政策的に注目され

たのも2000年代でした。

## つながりを再考する

孤立を問題視すると、「一人で行く」との何が悪いのだ「人権侵害だ」という批判が起きることも少なくありません。たしかに、「一人でいることは私たちが長い年月をかけて獲得した大事な権利です。」

しかし、研究レベルで言えば、孤独・孤立が心身にかかりのマイナスの影響を及ぼすことは明らかです。人と無理してつながらなくてもよい時代になったからこそ、私たちは人とどうつながるか、真剣に考えなければならぬのです。

# 共生社会の実現をめざして

北星学園大学社会福祉学部 教授 伊藤 新一郎 さん

## 「共生社会」とは

「共生」とは、もともと生物学における用語で、異なる種類の生物が生理的あるいは生態的に緊密な結び付きを保ちながら共に生活している現象を意味します。今日、「共生」は人間社会のあり方を表す用語としても使われ、その代表例が「共生社会」です。それはパラリンピックの理念のように、障がいのある人々との関係で用いられることも多く定義も多様です。ここではコミュニティや自治体、社会・国家、世界を目指す目標として、「すべての人が年齢、性別、人種、国籍、文化、宗教、社会的地位・能力などに関係なく、互いの人権や尊厳を認めつつ、多様性を尊重しながら共に生きていく社会」と理解

しておきます。

## なぜ「共生社会」なのか

「共生社会」が目指すべき社会の姿とされる背景には、それは程遠い現実が私たちの目の前に広がっていることがあります。日本を例に考えた場合、少なくとも2つの視点から捉えることができます。1点目は、学校・職場・地域など社会のさまざまな場・環境において、特定の人々・障がいのある人、ひとり親家庭、外国人、性的少数者、非正規労働者などへの差別・偏見や政治的・経済的・社会的側面での不当な扱いが存在していることです。2点目は、他者の助けを受けず自分の力や責任で生きていくことが過度に求められる「自



## プロフィール

専門は社会福祉学(社会福祉理論・福祉政策)。北海道医療大学看護福祉学部助教、北星学園大学社会福祉学部専任講師、准教授を経て2019年から現職。厚生労働省「社会福祉士養成課程における教育内容等の見直しに関する作業チーム」委員(2018～2019年)。一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務局長(2021年～現在)。社会福祉士。著書『現代社会福祉分析の再構築』(古川孝順編著、中央法規出版、2022年)ほか。

活社会(自己/家族責任社会)の広まりです。近年、社会問題として認識されるようになった「孤立・孤独」や「無縁社会」は、社会生活における個人(や家族)の責任が過度に求められる社会がもたらした結果の一端とも言えます。

## 「共生社会」の実現に向けて

日本では政府により「地域共生社会」「多文化共生社会」の実現が目指されていますが、世界共通の取り組みとしては2030年までの国際目標を定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」があります。SDGsは「誰一人取り残さない」を理念に掲げ、「共生社会の実現」を志向しています。一見すると、日常からは距離がある内容に思えるか

もしませんが、「ひとりひとりにできること」の積み重ねが「共生社会」の実現へ繋がっています。その際、大切なことは「互いの違いを認め合う」：多様性(Diversity)、「すべての人が社会のメンバーである」：包摂性(Inclusiveness)という2つを日々の人間関係や社会関係のベースとなる普遍的価値として共有することではないでしょうか。そして、「共生社会」は与えられるものではなく、私たちが「どのような社会に暮らしたいか」について共に考え、意見を交わし、行動した先に描かれるものだと思います。

# シリア、経済制裁が 貧しい人たちの人権を奪っている

チームベコ 代表 佐藤 真紀 さん

## アラブの民主化運動

2011年3月、シリアでも「アラブの民主化運動」に呼応して独裁政権に反対するデモが起きました。シリア政府は厳しい弾圧を行いました。少年たちも逮捕され拷問にかけられるという残忍さに国際社会は、アサド大統領の退陣を求め、圧力をかけました。しかし、関係国（ロシア、アメリカ、トルコ、イラン等）がシリア情勢への関与を深めるなど、内戦へ介入し、現在ではシリア内政は複雑化しています。経済制裁は、シリア国民に対する虐待を止めさせ、シリアが法の支配、人権と隣国との平和共存を尊重させる事を目的にして始まりました。当初は、アサド大統領や、側近の個人資産の凍結でしたが、さらに輸出入の制限や、一般の個人への送金なども厳しく禁止するようになり政権が支配する

地域に暮らす人々全員への影響が大きくなっていきました。発電所や、下水道などのメンテナンスはできず、病院や学校の修理すらも経済制裁により禁止されました。現地通貨のシリア・ポンドは急落し、医薬品などの輸入が困難になり特に貧しいシリア国民が苦しむ事態になっていきます。昨年の秋には、安全な水を利用することができずに、アレップでは数万人がコレラに感染しました。シリア難民は600万人を超えて、今世紀最悪の人道危機といわれています。まだに帰還したのは50万人程度だといわれています。難民たちは、帰国したら逮捕されるのか、殺されるという人もいますが、シリア国内の家族や親せきに送りし続けるために帰らない人も多いのです。

## 小児がん患者への支援



私たちは、チーム・ベコというボランティアグループで、シリアのアレップの小児がんの少年サラハ君（11歳）の支援をしてきました。少年の父は運転手をしていましたが2016年に行方不明になりました。お母さんが一人で面倒を見て、定期的に病院に連れて行っています。住居は廃墟をただで貸してもらっているそうですが、電気もなく灯油代が高騰して暖をとれないと言っていました。もらってきた古着や、外から廃材やプラスチックを拾ってきて燃やしているそうです。この間はタイヤを拾ってきて燃やしたそうですが、この一週間は燃やすものもないとのことでした。一方で経済制裁を主導するアメリカは、シリア北東部にある油田をテロリストから守るという理由で米軍を

## プロフィール

早稲田大学理工学部卒業後、(株)ブリヂストン研究所勤務中に青年海外協力隊に参加しイエメン、シリアに派遣。その後日本国際ボランティアセンターパレスチナ事務所長、NGO日本イラク医療ネットワークを立ち上げ、白血病の子どもたちの支援を行った。現在は、国際協力事務所SAKABEKO/ハウスを運営し、Team Beko、シリア和平ネットワーク、聖地のこどもを支える会といったNGOのアドバイサーや、多摩大学非常勤講師を務める傍らアーティストとしての作品も発表している。

派兵しており、その石油を米軍は密輸しているという報道をたびたび見ます。シリア人の人権を守るといって経済制裁は、シリアの一番貧しい人達の生活を苦しめ、人権を奪い続けているのです。

2月6日にトルコ・シリアを襲った地震は、サラハ君の町も直撃しました。サラハ君は無事でしたがさらに厳しい生活を送っています。この危機を政治利用せず、すべての人達が一人丸となって助け合ってほしいと思います。

チーム・ベコでは募金を受け付けています。チームベコで検索してください。



# 共生社会の実現をめざした 人権啓発の拠点として

(公財) 兵庫県人権啓発協会の取り組み

(公財) 兵庫県人権啓発協会 (県立のじきく館内)

所在地 神戸市中央区山本通4-2215  
TEL 078(242)53355  
FAX 078(242)53360  
<https://www.hyogo-jinken.or.jp/>

(公財) 兵庫県人権啓発協会は、1991(平成3)年に、県と県内全市町の共同で設立され、令和3年11月で30年を迎えました。2011(平成23)年4月1日に公益財団法人に移行し10年を迎えています。今後も各市町関係団体と共に「人権文化をすすめる県民運動」を推進し、研修、啓発、相談等の諸事業を実施しています。

今号は研修事業と相談事業をご紹介します。

## 研修事業

県・市町職員や企業関係者、地域住民などを対象に、人権問題について主体的に問題解決に取り組むこと等を目的として各種の研修会を実施しています。研修では、県と協会が制作した人権啓発ビデオを用いたりワーク

シヨップ形式を取り入れたりするなど、知識を伝えるだけでなく、人権尊重を態度や行動に表すことができるよう工夫しています。

昨年度には人権啓発ビデオ「パースデイ」を作成いたしました。今回の作品のテーマは「性の多様性を認め合う」誰もが自分らしく生きられる社会をめざして」です。多くの皆様にご活用いただくために活用ガイドも作成しています。詳しくは協会のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



人権啓発ビデオ「パースデイ」

## 相談事業

県民からの人権相談に応じるために、平日9時〜17時に専任の人権相談員を配置し、県民からの来館相談、電話やメール等による人権相談に応じています。家庭や職場などでの悩み、人権侵害への対応の相談が寄せられています。また木曜日15時〜17時には弁護士による無料相談窓口を開設し、県民の皆様にご利用いただいております。さらに昨年より兵庫県LGBT電話相談(050-3637-7521)を開設し、ご本人、ご家族、ご友人、教員の方などからの相談を受け付けています。



兵庫県LGBT電話相談

当協会は、今後も県市町と一層の連携を図り、関係機関・団体とのネットワークを充実させながら、県民の皆様とともに、共生社会への実現に向けて取り組んでいきます。

## 映画紹介

### 『明日香に生きる』

緑深い山々に囲まれ、棚田が広がり、高松塚古墳など重要な史跡が点在する奈良県明日香村。本作はこの村で在宅医療に力を入れる武田以知郎医師と診療所の医療従事者たち、そして村の人々の400日に寄り添ったドキュメンタリーです。悠久の昔より続く四季の移り変わりを背景に、稲を育て、畑を耕す人々の営みも幾百年前と変わらぬように思えてきます。しかし歴史あるこの地でも高齢化は進んでおり、武田医師が訪ねる家々にはベッドに身体を横たえたままの高齢者が待っています。

老いたとき、病んだとき、それでもいかに充実した生活を送るか。武田医師は、ケアマネージャーや看護師、管理栄養士も巻き込んで、患者さんとそのご家族の生活や人生にまで気を配ります。私たちは病気や死を恐れます。自分や家族が健康であれば目を背けていたい話題です。しかし明日香村に息づく自然とともに生きる人々を見ると、病気も老いも生きることの一部分なのだと思えてきます。



© ディンギーズ

■監督: 溝淵 雅幸  
■2023年/日本/カラー/4KDCP/110分(予定) ■製作・配給: 株式会社ディンギーズ  
■元町映画館にて4月1日より上映 ■お問い合わせは、078(366)2636

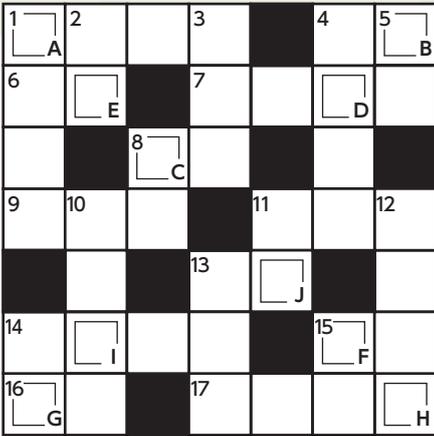
# ふれあい サロン

投稿 & クロスワードで

## 「オリジナルふせん」

プレゼント!

**問** A~Jの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう?



### タテのカギ

- 1 (T\_T) で泣き顔を表したりします
- 2 鬼や牛などの頭に生えています
- 3 ターメリックとも呼ばれるスパイス
- 4 髪の毛があるところとないところの境界
- 5 東京は都、大阪は府、では兵庫は?
- 8 絵や写真などを入れて飾ります
- 10 かゆいところに手が届かないときに使う道具
- 11 大きな刀
- 12 収穫されたばかりの米
- 13 夏の初め頃
- 14 アワビやアサリやホタテなど
- 15 田楽や煮びたしなどで食べる野菜

### ヨコのカギ

- 1 はたらき動き回ること。部—— 火山——
- 4 壁などを塗るための道具
- 6 木こりが木を切るための道具
- 7 遊具などで子供が遊べる場所
- 8 カモ科の鳥の中で比較的大型
- 9 吹き替えでない洋画についています
- 11 ゴシゴシとこすって掃除する道具
- 13 1, 2, 3, 4, 5, 6, その次は?
- 14 彼氏と恋人関係にあります
- 15 ——ビール ——クリーム ——放送
- 16 12星座の一つ。矢を射る人です
- 17 真水とは違い塩分が含まれています

1月号の答え  
ボウハンパトロール



## 読者からのお便り

1月号クロスワードの答え「防犯ネットワーク」は確かに大切です。社会事情や不安が多いなか、ありえない事件や犯罪も少なくありません。ネットワークを生かし、地域で子どもを育てていきましょう。  
(姫路市 照本 忠光さん)

「神戸には地震が来ない」頭ではわかっていても、まあ大丈夫だろうという思いを戒める内容であったと思う。震災の教訓を生かすのは、今を生きる私たちの努めであろう。まず「自助」から問い直してみたいと思う。  
(高砂市 中野 順一さん)

■「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和5年5・6月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)とに、「オリジナルふせん」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通じた心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### ■応募方法・締め切り

はがき、FAX、Eメールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

### ■応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内  
(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな」ふれあいサロン係  
TEL: 078(242)5355 FAX: 078(242)5360 Eメール: info@hyogo-jinken.or.jp  
\*応募者および投稿者の個人情報は、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



締め切り 3月25日(土)必着

## 兵庫県立のじぎく会館 ご利用案内

のじぎく会館は、県民の皆さまの研修や講習、会議などに利用していただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

### 利用ご案内

- 利用時間 9時から17時まで(午前のみ、午後のみ可)
- 休館日 国民の祝日(振替休日を含む)、年末年始(12月29日～1月3日)  
(その他改修・清掃等で使用できない日があります)

### 施設ご案内 \*括弧内は室数

- 大ホール(1):360人(机使用の場合240人) ●大会議室(1):126人
- 特別会議室(1):24人 ●中会議室(8):24～42人
- 小会議室(4):12～15人

<利用にあたって>

- ・事前申し込み必要、使用料金必要  
(使用料金例:中会議室終日利用 3,300～3,900円)
- ・所定の申請書に必要事項を記入して申し込んでください。
- ※申請書は受付にあります。
- また、当協会ホームページからダウンロードができます。

<無料貸出し備品>

- ・マイク(有線、ワイヤレス、ピンマイク) ・ホワイトボード ・プロジェクター
- ・スクリーン ・PCコード など

<館内無線LAN(Wi-Fi)の利用について>

全館で利用可能

☆☆☆無料でご利用いただける部屋もあります☆☆☆

- ふれあいルーム(多目的室84人)  
学習・交流等に自由に利用することができます。  
(専用使用の場合は有料となります。また、専用使用中は、他の人は利用できません。)
- 視聴覚室  
人権関係のビデオが視聴できます。
- 図書資料室  
人権に関する図書、資料等を閲覧することができます。  
(雑誌を除き、貸出を行っています。)

※詳細については、  
当協会ホームページでも  
ご覧になれます。  
お問い合わせ、お申込みは、  
右下欄外まで  
ご連絡ください。



## 人権研修講師を派遣します!

(公財)兵庫県人権啓発協会では、住民学習会、企業研修会、PTA研修会など様々な人権研修会に、講師を派遣しています。

### 研修 テーマ

子ども(いじめ、虐待、不登校など)、高齢者、障害のある人、インターネット、部落差別(同和問題)、男女共同参画、多文化共生、ハラスメント、LGBT、メンタルヘルス、公正採用、企業の社会的責任、地域づくり、新型コロナウイルスに関する誹謗中傷、人権全般、住民学習会の進め方など

### 費用

●派遣に際しては、次に掲げる研修料と旅費が必要です。

#### 1. 研修料(1回当たり)

① 受講者が50人以下の場合 **15,000円**(税込)

② 受講者が51人以上の場合 **25,000円**(税込)

※賛助会員(法人・個人)様には1口につき10,000円の免除があります。

・オンライン研修も可能。ただし、「録画データによる研修」を希望される場合は、別途料金をいただきますので事前にご相談ください。

#### 2. 旅費

講演会、研修会場までの旅費  
(県の旅費規程に準じます)

問い合わせ先 研修部



## (公財)兵庫県人権啓発協会では、 賛助会員を募集しています。

### ■入会すると

- (1)「ひょうご人権ジャーナルきずな」(隔月発行)をお送りします。
- (2)人権啓発行事やイベント、講演会等の開催についてご案内します。
- (3)法人・団体会員には要請に応じ、研修会や講演会等の講師を派遣します。  
(1口につき、研修料から10,000円免除)  
※入会については、下記までお問い合わせください。

### ■年会費(複数口加入できます)

個人会員 1口 1,000円  
法人・団体会員 1口 10,000円

### ラジオ関西 「谷五郎の笑って暮らそう」

(毎週火曜日10:00～13:00)で、  
12:30頃から「きずな」の記事等を  
紹介しています。

## HALF TIME



今号より隔月発行となりました。  
次号からデザインも新たに横書き  
12ページで奇数月15日発行とな  
ります。読者の皆様からのお便り  
やクロスワード、映画紹介は継続  
してまいります。

